

**製品名: TP1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19138**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	TEP1
別名	TEP1; TLP1; TP1; Telomerase protein component 1; Telomerase-associated protein 1; Telomerase protein 1; p240; p80 telomerase homolog
遺伝子 ID	7011.0
SwissProt ID	Q99973
免疫原	抗血清はヒト TEP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

**背景**

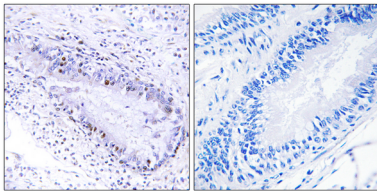
この遺伝子産物は、染色体末端への新たなテロメアの追加を触媒するテロメラーゼ活性を担うリボ核タンパク質複合体の構成要素で

ある。テロメラーゼ関連タンパク質は織毛虫からヒトに至るまで保存されている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2016年1月]、機能: 染色体末端の複製に不可欠なテロメラーゼリボ核タンパク質複合体の構成要素。また、核-細胞質輸送に関与する多サブユニット構造であるリボ核タンパク質ポルト粒子の構成要素でもある。ポルトリボ核タンパク質粒子におけるポルト RNA (vRNA) の局在化と安定化を担う。TERC に結合します。類似性: NACHT ドメインを1つ含みます。類似性: TROVE ドメインを1つ含みます。類似性: WD リピートを21個含みます。類似性: TEP1 N 末端リピートを4個含みます。サブユニット: TERT、DKC1、WDR79/TCAB1、NOP10、NHP2、GAR1、TEP1、EST1A、POT1、およびテロメラーゼ RNA テンプレート成分 (TERC) から少なくとも構成されるテロメラーゼホロ酵素複合体の構成要素。少なくとも MVP、PARP4、および1つ以上のポルト RNA (vRNA) から構成されるポルトリボ核タンパク質粒子の構成要素。VAULTRC1、VAULTRC2、および VAULTRC4/hvg4 vRNA に結合します。組織特異性: 普遍的。、

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; 転写因子; 発生生物学; 生殖; 受精; ヒストン; 変異体

## 画像データ



TEP1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。